

事業実施報告

開催日	令和3年11月6日（土）～11月7日（日）		
事業名	新たな発見！！チームづくり 基本のき		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家 滝沢市北部コミュニティセンター	参加人数	42名（男子15名、女子27名）
対象	バレーボールを行っている岩手県内の中学生		
関係機関名	岡崎建設Owls 後援：岩手県教育委員会、岩手県中学校体育連盟、岩手県バレーボール協会		

状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

【事業の内容】

岡崎建設Owlsと連携し、バレーボールを通じて参加する青少年の交流を深め、仲間意識や連帯感を高めることを目的に1泊2日の日程で事業を実施した。事業には男子15名、女子27名が参加し、事前調査で確認した個人の課題や学びたいスキルの内容を踏まえて、男子2チーム、女子4チームに編成を行い活動を行った。

1日目は午前中に青少年交流の家の職員を中心にバレーボールの準備運動を兼ねた交流活動（PA）を行い、参加者間の交流を促進した。午後は、岡崎建設Owlsの選手が各チームに入り、事前調査で確認した内容を踏まえて、参加者の実態に合わせてバレーボールの指導を行った。夕食後にはミーティングを行い、1日の振り返りの中でチームメイトの良かったところを再確認し、翌日の交流戦に向けてチームの団結を深めた。

2日目は男女別で交流戦を行い、2日間の活動の成果を確認した。

【成果】

- ・事業後の参加者アンケートで、事業全体に関する満足度について、すべての参加者から「満足」「やや満足」の評価を得ることができた。
- ・岡崎建設Owlsとの打ち合わせを通して事業の趣旨を共有することができた。参加者から「改めてチームプレイにはコミュニケーションが大切だと思った」「交流の仕方やチームの作り方が分かった。これからチームに戻っても活かしていきたい」という感想が多々寄せられるなど、バレーボールを通じて参加する青少年の交流を深めるという事業のねらいに沿った活動を行うことができた。
- ・引率者から、「機会があればまた子どもたちを参加させたいと思った。レベルに合わせて教えていただいたので子どもたちが成長できた所がとても多かった」「基本の意識しなければいけない部分を改めて確認でき、この事業に生徒を参加させて良かった」という感想をいただいた。

【課題】

- ・募集人数50名に対し42名の参加者であり、定員を満たすことができなかったことから、日程や周知方法等の検討を行いたい。
- ・バレー支柱用の緩衝マットやアンテナが劣化していた。安全面からも次回実施までにバレー用具の更新を行いたい。

状況写真



準備運動を兼ねた交流活動



チームビルディング



チームミーティング



練習成果の確認ゲーム



表彰



集合写真